



大 幼



令和6年度

園長だより No.1

令和5年4月25日

附属幼稚園のお友達、全員集合！



今年度も園長通信「大幼」^{たいよう}をよろしく申し上げます。この「大幼」は、附属幼稚園での様子を伝える一方で、保護者同士の会話のきっかけになることを願って発信します。

さて、4月8日（月）、令和6年度の園児たちの新生活が始まりました。新年度ですから新鮮な気持ちで園児は登園してきた様子でした。「今の気持ちはどうですか？」と尋ねると「なんだかドキドキしている」と答えてくれました。子どもたちは新たな出会いに心が弾んでいることを感じました。私からは、「なきむしようちえん」という絵本の読み聞かせをしました。幼稚園で過ごす1年間をなきむしな子の成長を通して描かれている絵本です。今年度は、機会あるごとに読み聞かせを取り入れて話をしたいと考えています。

4月12日（金）3・4歳一緒に入園式を開催しました。新入園児たちは、落ち着いた態度で参加でき、附属幼稚園のお友達が全部で113人になりました。

今年一年をこの幼稚園を舞台にしてたくさんのご経験するはずです。その中には嬉しい楽しいことや歓迎しないけれど悲しいこともきっとあります。その時々で、お子さんと保護者と保育者とで語り、より良い方向性を見つけ、共にそだっていけるようにご協力をよろしくお願いいたします。

共にそだつ幼稚園



先日、全国国立大学附属学校 PTA 連合会（以下全附連 P）事務局から嬉しいお知らせが入ってきました。昨年度「祖父母ふれあいデー」の取組をまとめた報告書が、全附連 P 加盟校園の中で、優秀賞の表彰を受けることになったのです。PTA 役員さんのご苦労が報われ、名誉ある受賞です。

祖父母ふれあいデーは、コロナ禍以前には園児一人一人の祖父母が来園し、運動会に向けて交流活動をしていました。昨年度、PTA 活動は「グーではなくパーで」（参加できる方が参加できる時にできることをしよう）を合言葉にして、幼稚園に来れる方にお越しいただき、特技を披露していただいたり、園児と一緒に遊んだりして、お孫さんだけでなく多くの園児にふれ合ってもらいました。

我々も役員さんと一緒になって企画・運営に加わったからこそ、保護者と共に創っていくことの価値や、PTA 活動が強制ではなく個人の選択の自由度をもつことの意義は、今後の多様化社会を生きていく指針としても感謝すべき受賞でした。（幼稚園の掲示板をご覧ください）